



表彰者

五月二十三日(土)、熊本市立図書館ホールにて、熊本市PTA協議会定期総会が開催されました。

平成21年度 熊本市PTA協議会 定期総会開催

◆ 表彰者代表挨拶「やり遂げた充実感…」

「構成員総数二百四十名、参加人数百七十三名、委任状五十一名」と総会成立宣言。今年度も市PTA協議会会長に再任された井芹中PTA会長の森徳和氏が幕末の勝海舟の話を紹介し「時代の転換期に先見性のあるリーダーとして、皆さんの活躍を期待しています」と話しました。

来賓を代表して小牧幸治熊本市教育長と森田優二県PTA連合会副会長の挨拶をいただきました。小牧教育長は「子どもの健やかな成長を支える社会と地域づくりに取り組んでいる。子どもの夢の実現に向けてきめ細かな対応をしていきたい」と述べ、森田副会長は「開かれた県PTAを目指している。九P大会を成功させましょう」と述べられた。

続いての表彰式では、市長感謝状二名、市教育長感謝状六名、市PTA協議会個人表彰十九名、団体表彰が一体に贈られました。表彰

者代表挨拶をした倉岡伸也氏は「忙しく、大変なこともありましたが、やり遂げた充実感もあります。皆さんも頑張ってください。今後、PTA活動を支えていきたいと思えます」と感想を語りました。

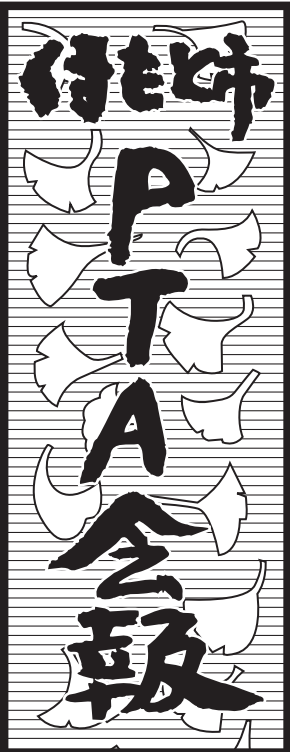
議長二名選出後、議事にうつり、平成二十年度の会務、決算ならびに監査などの報告や、二十一年度の役員改選、事業計画、予算などの議事が審議され、拍手をもってすべて承認されました。

最後に、民長博美宣言文起草委員長が「命の大切さを理解し、人のいたみがわかる心を持った子どもの育成に努める」と、また、主体性のある子どもの育成、安心安全な環境の整備、自然環境保護を推進することを宣言し閉会しました。

(楠小 竹本容子)



表彰者代表挨拶



熊本市PTA協議会 会長 森徳和 編集責任者 中村稔 発行所 熊本市PTA協議会 熊本市草葉町5-1 TEL 356-1122 FAX 351-2309 メールアドレス info@pta.kumamoto-net.ne.jp 印刷：太陽社 TEL 366-1251



平成二十一年度 市P協議会役員

役職	氏名	単P名	地区	所属委員会
会長	森徳和	井芹中	北東部B	広報
副会長	山形新	桜木東	東東部A	広報
	古川継	中島小	西東部B	愛護
	鬼木正	日吉東	南東部A	教養
	高木文	城北小	北東部A	厚生
	森下直	竜南中	北東部B	総務
会計理事	木村照一	東部中	北東部A	
専門委員会委員長	西村聖一	北東部中	北東部A	広報
	方秀一	桜木小	東東部A	広報
	中村稔	託麻小	西東部B	愛護
	中村毅	小島小	西東部A	教養
	上田芳	大江小	南東部A	厚生
	田中靖	藤山中	北東部A	総務
市P担当部長	原宮澤	天明中	南東部A	教養
常任理事	島津眞由美	健軍東	東東部A	広報
	西山春	池上小	西東部A	愛護
	菊池博	富合小	南東部A	教養
	山野佳	泉ヶ丘小	東東部A	厚生
	竹尾雅	長嶺中	東東部B	愛護
	大村和	城西中	西東部A	厚生
	増田菊	黒髪小	北東部A	愛護
	堀史	高平小	北東部B	厚生
監事	河野泰博	出水南	東東部A	
参与	矢野康典	田迎南	南東部A	
	藤本典子	小学校長会代表		常山小学校長
	本田恵典	中学校長会代表		出水中学校長
	杉原哲郎	教育委員会		指導課長
	林中順	教育委員会		生涯学習課長
	村田二浩	教育委員会生涯学習課		生涯学習推進係長
事務局職員	太田真由美			

「泰平の眠りを覚ます上喜撰(蒸気船)たった四杯(四隻)で夜も眠れず」という狂歌をご存知だと思いませんか。ペリー総督の黒船が浦賀沖に來航したときの混乱ぶりを風刺した江戸時代の狂歌です。時の老中阿部正弘は、アメリカ大統領の国書を大名や庶民に公開して、国難を乗り越える為の意見を広く求めました。若き日の勝海舟は、海軍力の整備を進言したそうです。

が、関ヶ原の戦いに代表されるように陸上での決戦が主流だった江戸時代に、海軍力の整備という着想を持っていた勝海舟は、数少ない先見の明がある人物でした。これに對して、当時の大名の大半は、問題を先送りする日和見主義だったことから、間もなく江戸幕府が倒された事はご存知のとおりです。

昨年秋から百年に一度と言われる経済危機に見

舞われていきます。また、春先から新型インフルエンザという新しい脅威が日本を襲っています。現在の世の中は、リーダーの資質が問われる難しい時代になっています。パッとしない人間には「言われた事が出来ないタイプ」と「言われた事しかできないタイプ」があるそうです。このうち

私の挨拶と致します。

「新しい時代のPTA」



森会長挨拶

「言われた事しかできないタイプ」は、新しい世の中を乗り越えるリーダーにはなれません。また「言われた事が出来ないタイプ」も普通は困った存在です。しかし、人に言われるままではなく、自分で考えて行動するタイプのリーダーであれば、困難な問題にも対処できます。

本日の総会を契機として、新しい時代のPTAのリーダーとは何かについて考えて頂きたいと思えます。皆さんが、熊本市のPTAのリーダーとして、新しい時代を切り開かれる事を期待しまして、私の挨拶と致します。

「いいとこぼこ」登場

校長先生の『想い』を PTA会長が『かたち』に!

桜木東小学校



長野ゆう子校長先生は、児童を見守る地域の方々からのお話と『ともだちのいいところ』いろいろひゃくはっけん』の標語をきっかけに、子どもたちのい

特別支援教育とは、文部科学省特別支援教育課から出ています。パンフレットにより、障がいのある子どもたちが自立し、社会参加するために必要な力を培うため、ニーズを把握し、その可能性を最大限に伸ばし、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導及び必要な支援をすべての学校で行うものです。これは多様な個人が能力を発揮しつづ

自立してともに社会に参加し、支えあう『共生社会』の形成の基礎となるものであり、我が国の現在及び将来の社会にとって重要な意味を持っています。『いいとこぼこ』は、地

発達障がいの子どもたち

そこで乳幼児期から学校卒業までの一貫した長期的な計画が必要となります。そのため学校が中心となって「個別の教育支援計画」を作成します。作成に当たっては、医療・福祉・労働などの関係機関と連携するとともに、(私見ですが)当事者の意見を第一に見据え、保護者の参画や意見を聞くことなどが求められています。



現させましょう」と早速PTA総会当日に、みんなが気づいた『いいとこ』をだれでも書いて投函できる「いいとこぼこ」を、校長先生・教頭先生・子どもたちと手作りで作成・登場させました。先生たちの『想い』が保護者との協力によって『かたち』になる…まさに「学校と家庭との連携」を具体化した活動です。

「P災たより」見ましたか?

熊本市PTA災害見舞金安全会発行の「熊本市P災たより」はご覧になりましたか? 年度初めの四月二八日にP災・安互説明会を開催しましたが、一一一PTAより約一六〇名



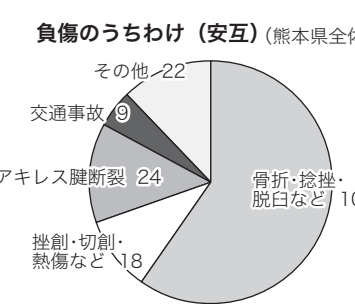
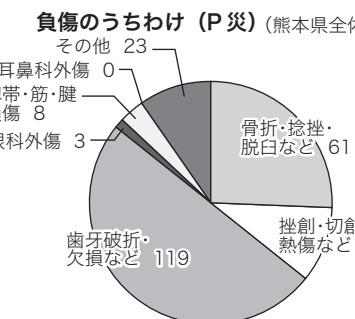
域・学校・家庭で子どもたちとの楽しい話題のひとつになっているようです。(託麻西小 中村稔人)

『通常の学級に在籍している障がいのある子どもにも、障がいに配慮し、指導内容・方法を工夫した学習活動を行います』と明記されているのです。これは特別支援教育コーディネーターの先生の大事な役割で、子どもの将来設計のために、協力も積極的に係わって、協力し合う関係が大事ではないでしょうか。(熊本市PTA協議会副会長 山形継司)

平成20年度 見舞金給付件数 (公立小・中学校)

P災 (加入数)	熊本市 57914	県全体 170497
死亡	0	1
障害	4	9
交通事故	10	37
負傷 (歯科)	104 (56)	206 (108)
計	118	371

安互 (加入数)	熊本市 49625	県全体 137556
死亡	0	0
障害	0	0
交通事故	2	8
負傷	70	166
計	72	174



の参加がありました。見舞金給付の事例や事務手続きの流れなどに関する安全会からの説明を、皆さん真剣な面持ちで聞いていました。市Pでは、この説明会にPTA会長の参加を呼びかけており、以前に比べると会長の参加は増えていきます。PTA活動を進めるに

当たって責任者として留意すべき点や会長承認行事について、会長にはその内容を認識して頂きたいので、今後も事務担当と共にご参加頂きますようお願い致します。P災たよりには「交通事故が増えています、歯のけがは全体の半分に」とあります。平成二十年

度の市P関係の加入と給付の数は表のとおりです。交通事故はほぼ全て登下校中、歯のけがもその殆どが学校管理下で発生しています。P災の適用範囲についても、会員の皆さんにもっと認識して頂きたいものです。また、PTA会員の事故に対する安全互助会の給付は、熊本市は他都市に比べ多い状況にあります。安全なPTA活動であるよう、会員の皆さんひとり一人が十分に注意しましょう。



最近、マナーについて考える機会があります。マナーとは何でしょうか。辞書によると「態度・礼儀。礼儀作法」とあります。ルール(規則・法規)と異なり、強制力はありませんが、人が生活していく中で、快適に過ごすための知恵だそうなんです。もちろん、マナーとひとことで言っても、テーブルマナーやビジネスマナー、冠婚葬祭マナーなどいろいろありますが、それらの中にパブリックマナー(公共の

マナー)があります。例えば、障害者専用駐車場には健常者は駐車しないマナーや映画の上映中に携帯電話を使わないなどのマナーです。ということは、マナーとは他者に対する「思いやり」ではないでしょうか。自分の行為によって困る人がいる。あるいは不快に感じられる人がいる。駐車場に停められなかったり、心地よく映画を観られなかったり。そうならないようにする他者への「思いやり」がマナーであり、子ども達のお手本とならなければなりません。かといって、マナーを守らない人に対して人格そのものを否定してしま

(熊本市PTA協議会副会長 高木徳文)



うちの学校の
こんなトコ
紹介します!

【河内小学校】

河内に
蛍がもどった

「あつ光った」「あそこにもおる」「あっちも……」ちも……子どもたちの歓声が響き渡る。

五月三〇日熊本市河内町にある「金峰森の駅み



ステージ発表

▼ だんご汁



ちくさ館」で、今年も蛍の観賞会が開かれました。無料で配られるだんご汁を口に頬張りステージ発表をしたり、見たり聞いたりしながら暗くなるのを待ちます。一つ二つと小さな光が見えはじめる

と徐々に光が増えていき、川いっばいに幻想的な光を見せてくれました。子どもたちの瞳も輝き、はしゃぎ追いかける姿が見られました。

河内小では、毎年四年生が学習の一環として、蛍の保存会の方々に協力していただき卵をもらい

【龍田小学校】

「参加と交流」を
キーワードに

PTA会長 重岡忠希
本校PTAは、PTA会員数が八百名を超える、熊本市内でも有数の大規模校です。そのような中で、本校PTAでは、なるべく多くの方にPTA活動に積極的に参加していただき、保護者・先生

方との相互交流を通して、子どもたちの教育環境の充実を図っていただければと考えています。

そこで、本校執行部では、昨年度から、PTA活動のキーワードに「参加と交流」を掲げ、これまでの各委員会(この「一家庭一役」)にプラスして、新たな取り組みを推進しています。その一つが、夏休みに実施をしましたPTA主催の開放講座

「おもしろ理科講座」

「おもしろ理科講座」

と「楽しく絵を描こう」の二講座)です。これらの講座では、高校生を講師としてお願いし、相互の交流を通して楽しみながら、子どもたちの科学的・芸術的な好奇心を高めることをねらいとしたものです。また、六月、十二月には先生方との情報交換会・懇親会を学校近くの公民会を借りて実施しています。これ以外にも、各クラス・学年PTA行事などにおいて

を育てていくために、道徳、特別活動を中心に

行っています。本校の子どもたちの今の輝きをさらに向上させていくことをめざした研究です。

学校には、いつも、保護者のみなさんの笑顔があります。子どもたちは、毎週水曜日の読み聞かせボランティア「きらきら」の読み聞かせを楽しみにしています。体育館や運動場での、お父さんお母さんとの朝遊びにも、たくさんの子どもたちが集ま

まります。このほかにも、夏祭り、ふれあいフェスタ、朝遊び、お帰りの運動などがあります。地域やPTAの支援も小山小の大切な学校の宝です。

【帯山小学校】
地域や
PTAの
支援を受けて

藤本典子校長先生

幼虫を育て川に放流しています。また、地域の方々と共に河内中の生徒たちも参加して河内川の清掃にも取り組んでいます。

その成果があり、河内川に蛍がもどってきました。これからも、この小さな命を守るため地域の方々と協力し、自然の大切さをしっかり学び伝え引き継いでいってほしいと願っています。皆さんも是非一度、子どもたちが育てた蛍を見に来られませんか?

(河内小 東さつき)

今年度は「心の教育」についての研究を、全教職員で進めています。子どもたちが生きていくときに必要な「豊かな心」

(帯山小 小峰早奈恵)

編集後記

慣れない作業に戸惑いながら始めた会報づくり。原稿収集、編集、締切と限られた時間に追われる日々。何かを人に伝え、その反応を見るうちに、大変だという想いが楽しさにさえ感じられるようになったのは、委員をはじめ協力して頂いたみなさんの支えと、愛娘の「お父さん頑張ってるね!」という言葉が癒してくれたからでしょうか。

◆前期編集委員◆

- 桜木小・倉永 聖雄
- 東部中・木村 昭一
- 帯山小・小峰早奈恵
- 月出小・山形 継司
- 志水 哲也
- 河内中・田中 絹代
- 河内小・東 さつき
- 田迎小・高本 利佳
- 銭塘小・土井理保子
- 龍田小・佐藤 克広
- 楠 小・竹本 容子
- 花園小・東 律子
- 託麻西小・小林 博子
- 中村 稔人



「紫外線対策白よけネット」をプールに設置
平成二十一年六月



平成二十一年七月二十六日(土)「おもしろ理科実験講座」より
本校体育館